

業種別職種別ユニオン運動の今日的意義

2018.12.18

1. 関西生コン支部弾圧の背景とユニオン運動

◇生コン業界における関生方式の広がり（2010年ストライキ以降）

武関西生コン支部委員長：「滋賀、京都、奈良、こういうところにわれわれの運動が前進して行って、集団的な労使関係ができ、生コンの値上げを一緒になってやるという関係ができたためです。ものすごい勢いで、この関生の運動が業者のなかで理解されてきたということです」。「だから弾圧されているということです」。

「セメントの値上げをストップする、ゼネコンに値上げを求めていく。つまり、大企業の収奪と闘うことによって、賃上げの原資を獲得していった」。

（『労働法律旬報』2018年11月上旬号）

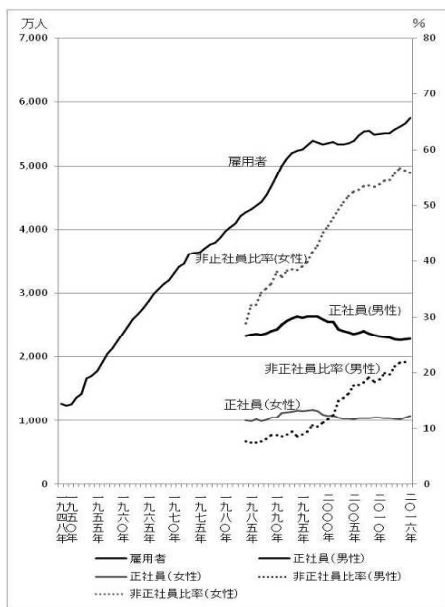
◇他の業界への関生方式の広がり

西山近畿地本書記長：「相手の目論見は、まさに関生型の運動、この研究会で言うところの業種別・職種別の運動を広げさせない、というのが一番の目的としてあると思っています」。

2. 時代の転換とユニオン運動の基盤

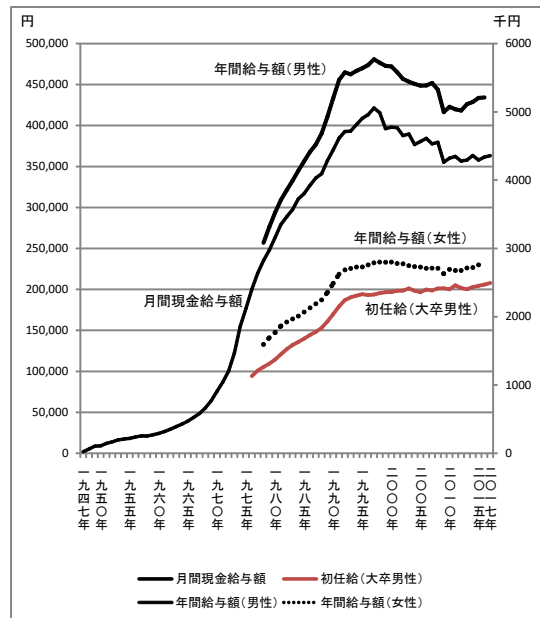
(1) 労働市場の構造変化

●労働市場の構造変化



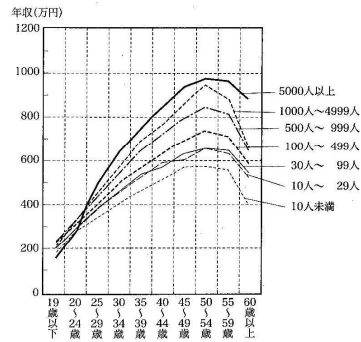
- ① 1998年の雇用の伸びの鈍化、正社員の減少
- ② 2000年からの非正社員の急増

●賃金・所得の下落



(2) 労働運動の舞台の転換＝時代認識の共有

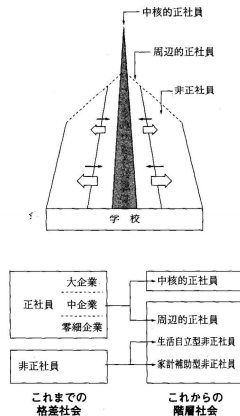
企業規模による賃金格差（1996年）
—事業所規模別平均給与（男性）—



出所) 国税庁『平成8年分 国民給与の実態』(1997年)

正社員の中での格差→

新たな階層社会—日本型雇用・年功序列賃金の解体



正社員の分解＋
非正社員

→ “非年功型労働者”

『日本人の賃金』(1999年)

『格差社会にいどむユニオン』(2007年)

(3) 労働運動の新たな担い手

①年功的労働者（年功賃金）

- ・自動昇給／自動昇進あり労働者
- ・労働条件は企業内で決定＝企業別組合

◇日本の労働組合（主に民間大企業と官公部門）…相対的に恵まれた労働者

②非年功型労働者を中心にした下層労働市場の形成

- ・下層労働者→非年功型正社員＋非正社員
- ・上層労働者→年功型正社員＋非年功型上層労働者

③下層労働市場（非年功型労働者）の特徴→**ユニオンへの結集の必然性**

◇「低賃金／過酷労働／使い捨て」労働者…企業帰属意識なし

- ①企業に居続けても労働条件は変わらない…転職志向
- ②転職しても“どこに行っても同じ”との感情
- ③だからユニオンで闘う以外にはない

(4) 業種別職種別ユニオン運動＝労働者の組織化

①未組織労働者の組織化の方法としても業種別職種別ユニオン

業種別・職種別に「一網打尽」に組織化 ⇔ 企業別組合＝企業という「点」の組織化

②下層労働者が貧困から抜け出る武器としてユニオンはある（欧米の歴史）

③業種別職種別ユニオンの広がり

1. 生コン業界での拡大
2. 生コン関連業界での広がり…バラセメント／圧送＝建設産業の専門工事業者
3. 若者を中心にした下層労働市場への拡散

④現段階と将来展望

- ◇野焼きの段階（あちこちに火をつける）→芽生えの段階（定着）→花と実の段階（発展）
- ◇将来展望→あらゆる業界に職種別賃金を→そのための業種別ユニオンを

3. 「業種別職種別ユニオン運動」研究会の例会

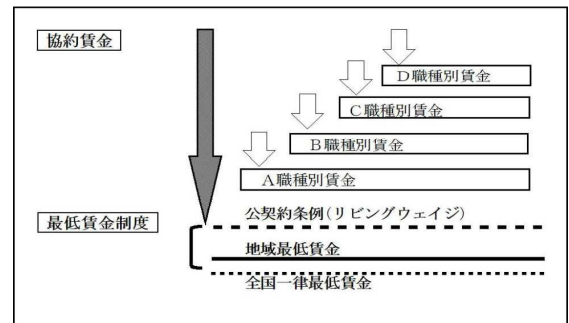
(1) 結成シンポ：2017年6月15日

- ①研究会の基調講演：木下武男
- ②報告—「個人紛争とユニオン運動」：嶋崎 量（弁護士）

③業種別ユニオンの事例報告

◇全日本建設運輸連帯労組（生コン、港湾、トラック、介護）近畿地方本部：西山直洋

◇総合サポートユニオン（エステ、ブラックバイト、塾講師、介護、保育）坂倉昇平



(2) 第1回例会：9月2日

- ①「クリーニング産業における業種別ユニオンの確立」
報告—1. 日本労働評議会生活衛生クリーニング労働組合：宮廻満
2. NPO法人クリーニングカスタマーズサポート：代表理事：鈴木和幸
- ②「エステ・ユニオンによる労使関係の展開」
報告—青木耕太郎

(3) 第2回例会：11月8日

- ①「出版産業における個人加盟ユニオンの現状と支援体制」
報告—1. 「出版ネッツとは」：北 健一（出版労連書記次長）
2. 「出版情報関連ユニオンの取り組みの紹介」：住田治人（ユニオン書記長）
- ①「個人指導塾業界の構造とユニオン運動」
報告—1. 「個人指導塾業界の労働実態」：佐藤 悠（元塾講師）
2. 「個人指導塾業界の構造とユニオン」：渡辺寛人（ユニオン代表）

(4) 第3回例会：2018年2月10日

報告—「全港湾のたたかいと産業別協約」：松本耕三（全港湾委員長）

(5) 第4回例会：5月19日

報告—「イギリス一般労働組合の歴史から学ぶ」：浅見和彦（専修大学教授）

(6) 「関西生コン関連業種別ユニオン」連続講座

第1回講座（8月25日）：関西生コン支部／第2回講座（9月29日）：バラセメント／圧送
第3回講座（10月27日）：「資本主義社会を超える経済体制と実現の戦略」